

デیلیー・ジーザス・ニュース #289

木曜日...指導と逮捕の日：

「別れの説教」を行う

イエスは弟子たちに聖霊を約束する

ヨハネ14.15-26

=====

15」もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしの戒めを守るでしょう。

16わたしは父にお願いする。父はわたしと同じように、別の弁護者をあなたがたにお与えになる。その弁護者はいつまでもあなたがたと共にいる。17 その弁護者は真理の御霊である。世はそれを受け入れることができない。見もせず、知ることもないからである。しかし、あなたがたはそれを知っている。なぜなら、その御霊はあなたがたと共に生き、あなたがたのうちにおられるからである。

18わたしはあなたがたを孤児にはしません。あなたがたのところに帰って来ます。19 やがて、世はもはやわたしを見なくなりませんが、あなたがたはわたしを見るでしょう。わたしは永遠に生きているので、あなたがたも永遠の命を持つでしょう。20 その日、すなわち、御霊があなたがたの内に宿るとき、あなたがたは、わたしが父と一つになっていることを意識して生きており、あなたがたも同じようにわたしと一つになっていることを意識して生きており、わたしがあなたがたの中で生きていることを悟るでしょう。

21」わたしの戒めを堅く守り、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現す。」

22 すると、イスカリオテのユダではないユダが言った。「主よ、なぜ私たちには姿を現してくださるのに、世には現してくだらないのですか。」

23 イエスは答えて言われた。「わたしを愛する者は、わたしの教えを守ります。わたしの父はそのような人を愛し、わたしたちもその人のところに行って、一緒に住むでしょう。24 わたしを愛さない者は、わたしの教えを守りません。あなたがたが聞いているこれらの言葉は、わたしの言葉ではなく、わたしを遣わした父の言葉です。

“the whole truth, and nothing but the truth about Jesus”

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

25わたしはこれらのことを、あなたがたと一緒にいたときから話しました。26しかし、父がわたしの名によってつかわす弁護者、すなわち、聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれる

コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムの上の部屋
タイムライン	4月上旬 (39ヶ月目)
イエスの生涯の文脈	第8段階: 受難週
	D. 木曜日: 指導と逮捕の日
	「別れの説教」を行う
タイトル	イエスは弟子たちに聖霊を約束する

コメント:

イエスは告別説教の中で、聖霊の位格と働きについて、聖書全体の中で最も重要かつ詳細な情報を私たちに与えてくださいました。これは、新約聖書の他の著者たち、特にパウロが聖霊に関する信仰と教えの基盤としてきた真理です。私たちもそうすべきです。

すべての信者は、イエスからのこれらの尊い約束を深く理解するべきです。イエスは「**わたしはこれらのことを、あなたがたと一緒にいたときから話した**」と言われましたが、動詞「話す」の完了形を用いています。これは、イエスが言われたことの結果、すなわちイエスが私たちに明らかにされた聖霊に関する真理が、永遠に効力を持つことを意味します。

イエスは聖霊を「**私と同じように、もう一人の弁護者**」と表現しました。これは非常に豊かな表現です。イエスが父と一つであり、その真理を何度も表明したように、ここでイエスは聖霊と一つであり、同じ神の性質、性格、そして人格を共有していると言いました。「**私と同じように**」。聖霊は、父と子と同じく、三位一体において同等の神格を持つ方です。

イエスは聖書の中で聖霊を「弁護者」と呼び、最も豊かな意味を持つ称号を与えました。この言葉は非常に多くの意味を帯びており、一つの英単語ですべてを言い表すことはできません。だからこそ、様々な聖書翻訳では「助け手」「慰め主」「助言者」「弁護者」など、異なる言葉が用いられているのです。この言葉についてご自身で語彙を学び、そこに秘められた様々な意味の階層を習得することをお勧めします。聖霊はこの言葉の様々な要素を合わせたものですが、それ以上のものです。

聖霊の働きに関する重要な概念の一つは、聖霊がすべての信者の心の中でイエスを代理するということです。イエスは父なる神を代理するために来られました。イエスは自分の主導で話したり行動したりすることを拒み、常に父なる神の導きと御心に従いました。そのため、イエスはすべてのことにおいて父なる神を代理しました。だからこそイエスは、「**あなたがたはわたしを見たのであり、父を見たのである**」と**言うことができたのです**。

同様に、聖霊は私たちとのかかわりにおいて、イエスを厳密に代理します。聖霊は自らの意志で語ったり行動したりすることはありません。むしろ、イエスが天で私たちに対して語り、行なっておられることを聖霊は語り、行ないます。

この弁護者という立場において、私たちはイエスと永遠に結ばれる媒介者です。父が子の中に住み、子が聖霊を通して父に焦点を合わせたように、今やイエスは聖霊によって霊的に私たちの中に住んでおられ、私たちも聖霊を通してイエスの中に生きています。それゆえ、イエスはこう言われました。「**その日(聖霊が私たちの内に住まわれる日)には、あなたがたは、わたしが父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、わたしがあなたがたの中にいることが、分かるようになる**」。聖霊は私たちの内にあって、イエスの代理人、つまり個人的な代表者として働きます。

聖霊はイエスを、イエスは父を代表します。聖霊の内住において、父と子もまた私たちと共に住まわれます。私たちは三位一体の交わりに入り、三位一体の交わりは私たちと共に、そして私たちの内に住まわれます。これこそ、人間に与えられる最も栄光に満ちた真理です。三位一体の神の住まいとなり、そして、神の愛に満ちた交わりの至聖所にまで入ることができる恵みを受けること。

イエスの代理人として、聖霊は特別な務めを担っています。それは、イエスが地上での宣教において語ったこと、行ったことすべてを私たちに思い起こさせ、教えることです。聖霊はまず、福音書記者たちがイエスの言行を単に記憶するだけでなく、深く理解できるようにすることからこの働きを始められました。聖霊は、彼らがこれらのことを言葉で書き記す際に、彼らに靈感と導きを与え、真実のすべて、そして真実のみを正確に記録できるようにされました。そして、聖書の真理を通してイエスについての理解を広げ、福音の証しを通して、私たちが真の、生けるイエスを知ることができるようにしていただきます。

イエスのこの聖霊に関する基本的な教えには、私が触れていないことがたくさんあります。あなたも私も、イエスがここで語られたことを一つも知らないままにいるわけにはいきません。どうぞ、聖霊の力によって、イエスのこれらの言葉を理解してください。

応用：

イエスは、聖霊が永遠に私たちの中に住むだろうと言われました。 **「彼は永遠にあなたと共にいるでしょう...彼はあなたの中にいるでしょう...」** 私たちは聖霊と永遠の関係を持っています。

イエスを知る上で聖霊が私たちにとってすべてであるように、私たちもイエスにとってすべてです。なぜなら、私たちはイエスの神殿、永遠の住まいだからです。つまり、イエスが聖なる方であるように、私たちも聖なる者でなければならないということです。

あなたの思考、習慣、態度、感情の中に、聖霊が住まわれるにふさわしくない住まいを作っているものはありますか。今日、あなたは何を清める必要があるでしょうか。